

区分・種別	国・記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	県指定無形民俗文化財	
名称	ごごしまのふなおどり 興居島の船踊り		
所在地	松山市興居島		
所有者		保護団体	小富士文化保存会
指定年月日	昭和39年3月27日 県無形文化財 昭和52年1月11日 県指定替え	昭和51年12月25日	国選択
解説	<p>この踊りは、興居島にある船越和気比売神社<small>ふなこしわけひめじんじや</small>の秋の祭礼（10月6日）に、神輿の海上渡御に随行して演じられる芸能である。</p> <p>当日の祭列は、漕伝馬船<small>こぎてんま</small>数艘<small>そう</small>を先頭に、踊り伝馬船<small>みこし</small>、御輿伝馬船が結びつながり一組となって、海岸に沿って運行する。その間、踊り伝馬船の上では踊りが演ぜられ、観衆は岸から見物をしていた。</p> <p>現在は船踊用台船を造り、歌舞伎調の演出が取り入れられている。近年の演題は、伊予水軍凱旋踊り、大坂落城夏の陣、大江山、太功記十段目、曾我兄弟富士の巻狩りなどで、太鼓と拍子木にあわせた立ち回り中心の舞踊劇である。船のへさきで2人のボンデン踊り、トモでは2人の剣<small>かい</small>擧踊りが演じられる。近年では10月の第一土曜日に行っている。</p>		

